

中野市立博物館 年報 5

2021（令和3）年度

刊行にあたって

博物館運営の年度ごとの状況に関しては、従来から年刊の「教育要覧」等で記録化してきている。これらは教育委員会所管事業のまとめとして、博物館の社会教育的・統計的側面を主としている。しかし、博物館活動は多方面において過去を継承したうえで、それを新たに発展させることが基礎となっている。そこで従来の不足を補い、将来へ伝えるべきアーカイブとして年報を発刊することにした。できれば、将来、「紀要」的側面も付加して充実をはかりたい。

なお、収蔵資料目録の公開方法は別途考慮している。

< 目 次 >

I	博物館の概要	1
1	沿革	
2	施設概要	
3	館外施設	
	館略図	2
II	組織	3
1	博物館協議会	
2	令和3年度組織・職員	
III	展示	4
1	展示室	
2	水彩画展示室	5
3	企画展	
4	プラネタリウム	
IV	講座等	6
1	講演会	
2	学芸員講座	
3	市民参加講座	7
4	館外講座	8
5	体験講座（「キッズ・アカデミー」等）	
V	資料	9
1	収蔵・展示する指定文化財	
2	資料利用	10
VI	運営・利用実績	
1	運営	
2	入館者・利用者	11

I 博物館の概要

1 沿革

一本木公園内の歴史民俗資料館（1981 年建築、468 m²）を移転して、2009 年 4 月に市立博物館が発足し、展示室は同 5 月 1 日から公開している。

施設は文化公園（都市計画課所管）内の「創造館」（展示・研修・休憩施設、1991 年開館）を改修したものである。展示室以外は従前の基本設備を踏襲しており、博物館としての機能面で十分でない点がある。

また、水彩画展示室・展望室・休憩室等はそのまま無料エリアとして受け継ぎ、公園施設としての機能も果たしている。

柳沢遺跡出土品（重要文化財）の受け入れに伴い、2012 年から展示室の一部を大改修して保存・展示環境を整え、2014 年から指定品の収蔵展示室として公開している。

旧歴史民俗資料館は一本木公園内で美術品等の展示館（文化スポーツ課所管）として利用されている。

2 施設概要

R C 3F 延床面積 2,007.78 m²

展示室 2 室 計 594 m²、研修室 3 室 計 128 m²、プラネタリウム 133 m²（100 席）、収蔵庫 83 m² 2 層（考古・古文書・民俗・歴史資料）、展望室 44 m²（3F）
ほか （次ページ参照）

※ 収蔵庫は展示資料を主に、寄贈・寄託品・県埋蔵文化財センター移譲資料等を収蔵

3 館外施設

・収蔵庫（敷地内） L S 2F 延床面積 119.08 m²

図書資料・文化財行政資料等を収蔵している。

・旧中野高校(仮)

地域住民により収蔵された旧豊井小学校民俗資料館の収蔵資料のほか、旧永田小学校の収蔵資料やその後に博物館が収集した旧永田小学校の収蔵資料を含めた民俗資料を収蔵している。

また、2019 年まで平野倉庫に収蔵していた埋蔵文化財 1,000 箱を収蔵。

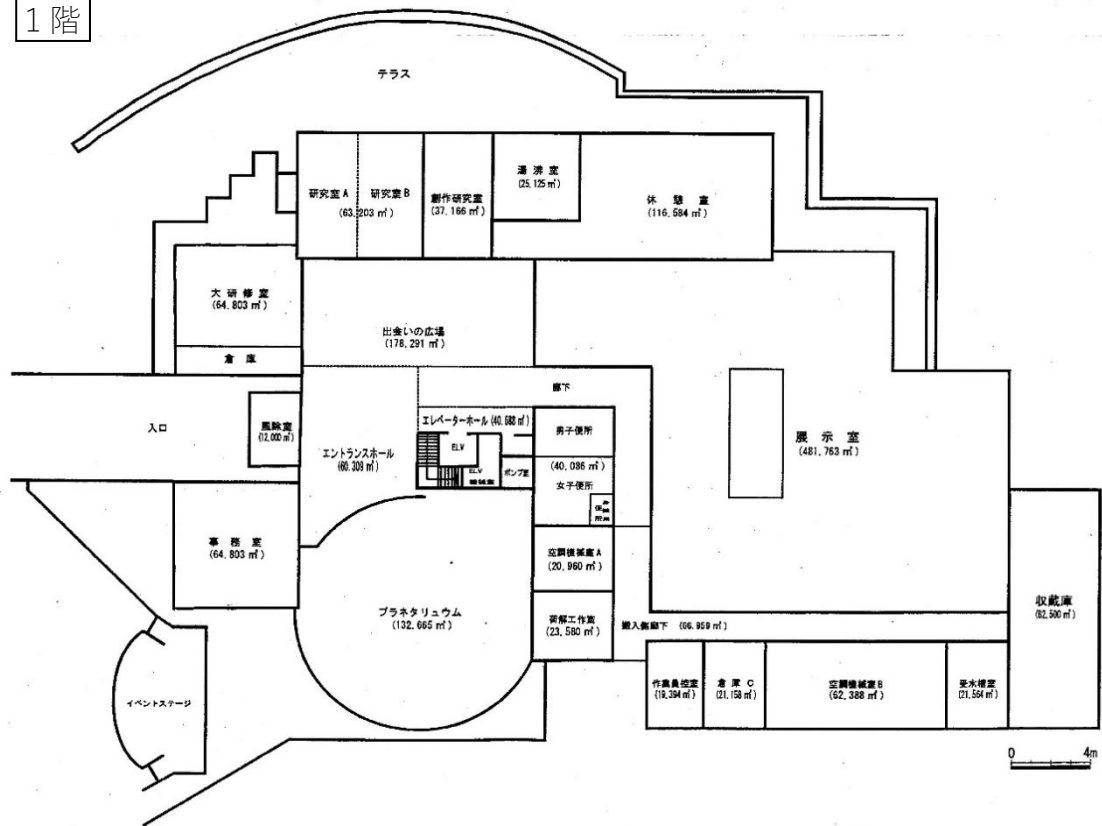
・上記のほか、館外収蔵として、

考古資料 2 か所（一本木倉庫 300 m² 埋蔵文化財 5,000 箱）

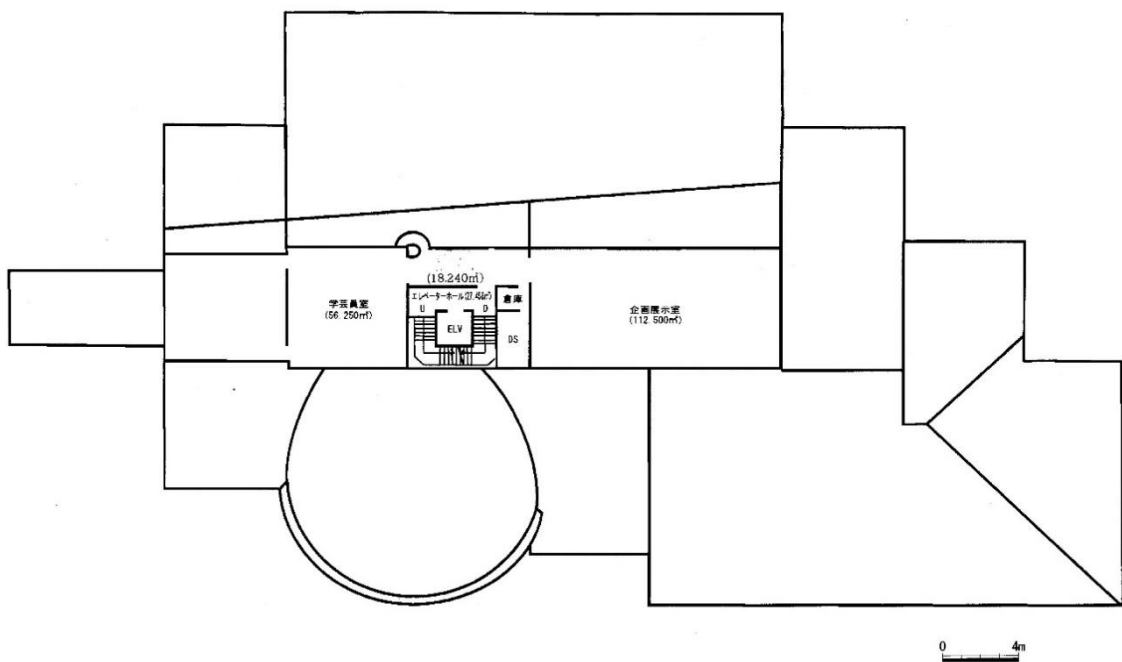
民俗資料 1 か所（一本木展示館 民俗資料 1,909 点）

※今後、収蔵庫(敷地内)、旧中野高校(仮)、一本木展示館の収蔵資料を、旧倭小学校に移送予定。

1 階



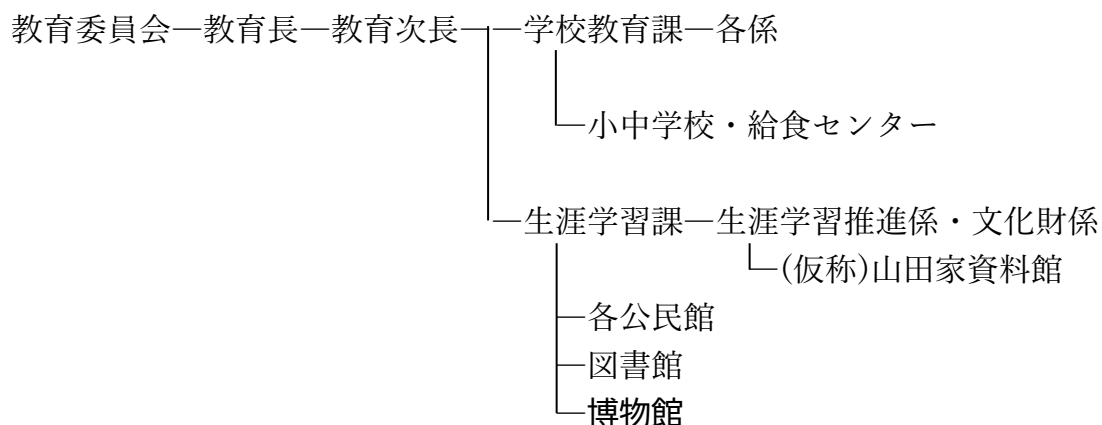
2 階



Ⅱ 組織

- 1 博物館協議会 任期2年（令和2年6月1日～令和4年5月31日）
- 会 長 大西 浩次(長野工業高等専門学校教授) 学識経験者(天文学)
- 会長代理 水澤 教子(長野県立歴史館学芸部総合情報課専門主事兼学芸員)
学識経験者(考古学)
- 委 員 志川 真一(中野小学校長) 学校教育関係者
- 菅沼 住子(公募)
- 田端 智子(公募)
- 宮下 宏(信濃教育会教科用図書研究部部長) 学識経験者
- 山崎 圭(中央大学教授) 学識経験者(近世史)
- 山田 正彦(中野市社会教育委員) 社会教育委員
- 湯本 巖(高井地方史研究会会長) 学識経験者
- ・令和3年6月24日(木) 開催

2 令和3年度組織・職員



館 長 (非常勤)	土屋 積
副館長	小林 敬子
主 査	大滝 敦士 (生涯学習課文化財係併任)
学芸員	柳生 俊樹 (生涯学習課文化財係併任)
〃 (非常勤)	細野 夏未 (文化スポーツ振興課文化振興係・生涯学習課文化財係併任)
一般職 (非常勤)	関 まゆみ



博物館外観

Ⅲ 展示

1 展示室

自然・原始古代・中世・近世・近代・民俗の6コーナー

柳沢遺跡重要文化財展示収蔵庫・青銅器映像展示

指定無形民俗文化財映像展示コーナー

展示室実物資料(2022. 3. 31 展示中)

	件	点	指定物件	主内容
自然	46	180	ナウマンゾウ化石 2(市)	動物剥製・蝶標本
原始古代	49	885	土偶 1(市)・弥生土器 2(市)・ 高遠山 18(県)	土器・石器・金属器・玉
須恵器窯跡	10	70		須恵器・窯体
中世	12	114	鉦鼓 1(県)・埋納銭容器 3(市)	土器・陶磁器・金属器
近世	13	27		文書・高札・絵図
近代	2	3		彫刻・絵画
民俗	15	63		民具(生活・生産・信仰)
柳沢展示収蔵庫	7	264	柳沢 212(国)	青銅器・土器・石器・玉
合 計	154	1606	239	

2 水彩画展示室

旧創造館では、故西沢今朝夷氏の一括寄贈を受け、水彩画展示室を設置していた。それを受け、年間2回（6月・11月）の展示替で水彩画展示（文化スポーツ課所管）を継続するとともに、他の展示にも一部を利用している。

令和3年度も前年度に引き続き、水彩画展『ふるさとの記憶』のほか、『大西浩次 星景写真展』を実施し、ともに途中入れ替え展示をしている。

無料エリアのため、正確な観覧者数は把握できない。

（水彩画9点・写真7点 2022.3.31 展示中）

3 企画展等

- ・エントランス展・春季企画展『中野市の歴史を掘るー下小田中遺跡の調査からー』

会 期	4月28日(水)～6月21日(月)
主な展示品	古墳時代の煮炊具と食器 平安時代の食器類 ほか
開館日数	49日
観覧者数	2,068名

- ・エントランス展示『信州中野 きのこ生産の歴史と未来 ナカノノチカラきのこパワー2021』

会 期	9月1日(水)～11月29日(月)
主な展示品	中野市内の栽培きのこ・加工品資料
開館日数	70日
観覧者数	2,481名

- ・特別展示『高橋由一「第十一代山田荘左衛門顕善」肖像画』

会 期	11月3日(水)～12月12日(日)
主な展示品	高橋由一作品「第十一代山田家荘左衛門顕善」
開館日数	36日
観覧者数	192名

- ・冬季企画展『江戸時代の書物文化と信州中野』

会 期	11月23日(火)～1月31日(月)
主な展示品	『南総里見八犬伝』 『釈迦御一代記図会』 ほか
図 録	パンフレット『江戸時代の書籍文化と信州中野』（カラー16頁）
開館日数	43日
観覧者数	156名

4 プラネタリウム

- ・年間投影番組

『ポケットモンスター オーロラからのメッセージ』

コニカミノルタプラネタリウム(株)

『ヤドカリくん、ほしをみに』

(合)アルタイル

『太陽 私たちの母なる星』

(合)アルタイル

『ナナとハチ〜ちきゅうにおちてきたネコのものがたり〜』

(株)リブラ

『ぼくたち惑星8兄弟ー太陽系学校の1日ー』

(株)リブラ

『よもやま学園天文部-春・夏・秋・冬・身近な天体たち-各編』

(株)リブラ

『星座解説〜春・夏・秋・冬〜各編』

(株)リブラ

(番組外投影)『動物園に行こう』(飯田市美術博物館提供)

(番組外投影)『石川県プロモーション』(石川県提供)

・デジタル投影ソフト

ステラドーム・プロ (株)アストロアーツ製

・一般投影

土・日・祝日

1日3回 11:00 13:30 15:00

・平日投影

水曜日

1日2回 13:00 15:00

・特別投影

大型連休特別投影 4月29日(木)〜5月5日(水) 264名

夏季特別投影 7月22日(木)〜8月15日(日) 422名

平日投影 4月14日(水)〜 13回実施 42名

夜間企画投影 4月14日(水)〜 7回実施 61名

お仕事終わりの「アフター7」ヒーリングプラネタリウム

・年間投影日数: 120日

投影回数: 290回

IV 講座等

1 講演会

・『見えないブラックホールの見つけ方』(天文講演会)

講師: 三澤 透(信州大学教授)

期 日: 8月7日(土) 【延期】

11月6日(土) 28人

・『弥生時代の鉄づくりに迫る〜南大原遺跡の調査から〜』(ふるさとレポート発表会記念講演会)

講師: 柳澤 亮(長野県埋蔵文化財センター)

期 日: 3月26日(土) 18人

2 学芸員講座

【学芸員と学ぶ講座】

・『古文書にみる江戸時代の中野』

担 当: 大滝 敦士 主査

4月21日(水)～3月16日(水)

全12回、うち8・1・2月は【中止】 延べ49人

- ・『考古資料で読み解く中野の古代史』

担 当： 柳生 俊樹 学芸員

4月16日(金)～12月17日(金)

全12回、うち8・1月2回・2月は【中止】 延べ98人

3 市民参加講座

【フィールドで考える】

- ・『身近な植物から考える中野の自然』

講 師： 清水 照雄

4月24日(土)～2月26日(土)

全12回、うち7・12・1・2月は【中止】 延べ64人

- ・『中野市の野鳥を科学する』

担 当： 本村 健(主査・生涯学習課)

4月17日(土)～3月19日(土)

全12回、うち6・8・12・1・2月は【中止】 延べ76人

- ・『路傍の石神・石仏を探る(豊田編)』

担 当： 大滝 敦士(主査)

5月1日(土)～3月5日(土)

全11回、うち8・9・2・3月は【中止】 延べ63人

- ・ 観望会

講 師： 信州中野天文同好会

4月10日(土)「早春のほしぞらをみよう！」 25人

5月28日(水)「皆既月食観望会」 105人

8月 7日(土)「夏のほしぞらをみよう！」 【中止】

11月6日(土)「秋のほしぞらをみよう！」 28人

11月19日(金)「部分月食観望会」 52人

3月 5日(土)「早春のほしぞらをみよう！」 【中止】

- ・ ふるさとレポート発表会

3月26日(土) 18人

第1部 成果発表

「登録有形文化財旧山田家住宅保存活用計画について」

本村 健(主査・生涯学習課)

「中野県役人の構成について」

大滝 敦士(主査)

「竪穴住居の炉端にて ～家族団らんの風景を考える～」

柳生 俊樹(学芸員)

「江戸時代の出版物 一本と暮らしの関わりについて」

細野 夏未(学芸員)

第2部 記念講演会【再掲】

『弥生時代の鉄づくりに迫る～南大原遺跡の調査から～』

講 師： 柳澤 亮（長野県埋蔵文化財センター）

4 館外講座

・古文書調査ボランティア育成講座(全28回)

4月8日(木)～1月13日(木) のべ 80名

担当 大滝主査

会場 (仮称)山田家資料館 <生涯学習課事業>

・講師派遣

5月20日(木) 17名

担当 土屋館長

内容 高社山麓名所めぐり <北部公民館生きがいつくり講座>

7月16日(金) 6名

担当 土屋館長

内容 「地域の歴史や文化遺産について学ぶ」高遠山古墳
<日野小学校5年生>

10月15日(金) 20名

担当 土屋館長

内容 柳沢名所トレッキング <北部公民館生きがいつくり講座>

5 体験講座

【キッズ・アカデミー】 合計 参加者130名 付添74名

<電子科学系>

- ・こどもパソコン「IchigoJam」をつくってみよう！

6月19日(土) 参加者8名 付添4名

- ・こどもパソコン「IchigoJam」ステップアップ工作－扇風機を作ろう！－

6月19日(土) 参加者7名 付添5名

- ・FMラジオをつくってみよう！

7月31日(土) 参加者10名 付添9名

- ・目指そう未来のロボット戦士－ロボット入門－(連続5回)

8月1日(日)・2日(月)・4日(水)・10月9日(土)・10日(日)

のべ参加者36名 付添20名

3月24日(木)・25日(金)・27日(日)・28日(月)・30日(水)

のべ参加者39名 付添11名

<自然・文化系>

- ・かぶとをつくろう

5月23日(日) 参加者8名 付添8名

- ・六角ランプをつくろう

6月27日(日) 参加者5名 付添4名

- ・植物で染めようー藍の生葉ー

7月25日(日) 参加者8名 付添7名

- ・ダンボールと木の実で作るー冬のインテリアー

11月14日(日) 参加者9名 付添6名

- ・和紙と糸でつくる！ 和綴じ本

1月23日(月) 【延期】 2月26日(土) 【中止】

【ワークショップ】

- ・藍染め体験

8月9日(月) 【中止】

- ・勾玉体験

11月14日(日)・12月26日(日)・3月18日(金)・20日(日)・21日(月)

28日(月)・30日(水) 合計7回 のべ参加者24名 付添13名

- ・中山道すごろく

3月20日(日) 参加者7名

V 資料

1 収蔵・展示する指定文化財

- ・国重要文化財 『柳沢遺跡出土品』 (銅鐸・銅戈等212点)
- ・長野県宝 『高遠山古墳出土品』 (銅剣・銅鏃等)
『鉦鼓』
- ・市指定有形文化財 『土偶』 (1点)
『弥生式土器』 (1点)
『ナウマン象臼歯』 (2点)
『埋納銭及び埋納銭容器』 (銭・木箱・珠洲焼甕等)
『中野町製糸場水車器械略図』
- ・出土品・映像等を収蔵・展示する指定文化財
 - 国史跡 高梨氏館跡
 - 国天然記念物 十三崖のチョウゲンボウ繁殖地
 - 県史跡 栗林遺跡
中野県庁(陣屋)跡
高梨氏城跡(鴨ヶ岳城)
七瀬双子塚古墳
高遠山古墳

市史跡	林畔1号古墳
	建応寺跡
	金鎧山古墳
市無形民俗文化財	小内八幡神社青獅子（安源寺）
	日和山神社鬼獅子（草間）
	上今井諏訪社太々神楽
	赤岩の宣澄踊り
	餅かえ行事（小沼）
	赤岩の太々神楽（高杜神社）
	新野の式三番叟（新野神社）
	松川の川崎踊り
	大俣の水神祭

2 資料利用

- ・貸出
なし
- ・掲載等
なし
- ・閲覧
なし

VI 運営・利用実績

1 運営

- ・開館時間 9時～17時 (4月～11月)
10時～16時 (12月～3月)
- ・休館日 毎週火曜日(祝日は開館)
年末年始(12月29日～1月3日)
- ・特別開館
- ・年間開館日数 252日
- ・年間休館日数 113日 (新型コロナウイルス感染症まん延防止のための休館を含む)
- ・観覧料
常設展示室 一般300円(団体240円) 高校生以下150円(団体120円)
プラネタリウム 一般600円(団体480円) 高校生以下300円(団体240円)
共通券 団体料金に準じる
※ 未就学児、市内小中学生・70歳以上 無料
- ・広報なかの『博物館だより』 4月号～3月号
全戸配布

館行事の広報等

- ・キッズアカデミーチラシ 4月～3月
市内小学校及び各施設配布
キッズアカデミーの案内募集等

2 入館者・利用者（4月1日～3月31日 開館：252日）

・常設展示室	1,639 人
・プラネタリウム	3,143 人
・研修室(貸館)	4 人
・講座・講演等	811 人
・水彩画等展示室・展望台等	3,752 人
合計	9,349 人

中野市立博物館 年報 5

2021（令和3）年度

〒383-0046

長野県中野市片塩1221（北信濃ふるさとの森文化公園内）

TEL・FAX 0269-22-2005

<https://www.city.nakano.nagano.jp/categories/hakubutukan/>

Email hakubutsukan@city.nakano.nagano.jp

2022（令和4）年6月30日発行